	事業所名	放課後等デイサービス トラム	支援プログラム(参考様式)	作成日	令和6年	9		30 日
法人(事業所)理念		乳幼児から高齢者までの障がいのある人が共に社会の一員として可能な限り、充実した普通の生活を送る事が出来るように、共に支えあう心"共助の精神 "をモットーに身体・精神の 両面から一視同仁の援助を行う。							
支援方針		1. 利用児及びその保護者等の意思及び人格を尊重し、適切な支援を提供する。 2. 利用児が日常生活における基本動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、お子様の身体、精神の状況、置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。 3. 学校、相談支援、他療育施設、各関係機関等との密接な連携を図り、総合的・一体的なサービスの提供に努める。 4. 利用児の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、従業者に対し、研修を実施する等の措置を講ずる。 5. 前四項のほか、児童福祉法及び「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準」に定める内容のほか、関係法令等を遵守し、事業を実施する。							
	営業時間	月~金 10 時 00 分から	18 15 時 30 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし				
				支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	◇基本的生活習慣、生活スキルの獲得 ・就労準備や社会人としての基本的生活習慣の確立を目指し、適切な睡眠時間の確保を含む規則正しい生活リズムを身につけられるよう支援します。就労や社会生活で求められる基 本的な生活スキルの獲得を目指し、適切な身だしなみや時間管理、健康管理などの自己管理能力の向上を支援します。							
	運動・感覚	◇身体機能の向上、体幹の強化 ・就労先での要求に対応できる基礎体力と動作の習得を目指します。立ち仕事や長時間の作業に耐えうる体幹の強化、正しい姿勢の維持、安全な動作の習得などを行います。 ◇感覚統合の支援 ・環境における多様な感覚刺激に適切に対応し、環境変化への集中力の維持、ストレス耐性の強化を図り、多様な職場環境での安定した就労を支援します。							
	認知・行動	◇感情のコントロールや自己管理スキルの支援 ・実際の作業環境を想定し、スケジュール表やタイムスケジュール、作業手順書などの視覚的ツールを活用した支援を行います。時間管理能力や作業の優先順位付け、手順の理解と遂行 能力を養います。 ◇利用児の障がいや特性に応じた支援 ・各利用者の特性(注意散漫、衝動性、集中力の変動など)に応じた個別支援を行い、職場環境での適応力を高めます。							
	言語コミュニケーション	◇コミュニケーション能力の向上 ・集団活動を通じて、コミュニケーションスキルの向上を支援します。電話応対や接客体験、ロールプレイングなどを実施し、就労で求められる言語スキルと表現力を育成します。 ・言語による意思疎通に加え、自分の気持ちを表現できる多様なコミュニケーション方法を支援します。							
	人間関係 社会性	◇他者を意識しながら過ごす事や協力する事の大切さについて学ぶ ・他者と協力しながら共通の目標に向かって取り組む能力を育成します。役割分担や責任感などの育て、感情をコントロールしながらチームの一員として貢献する力を養います。 ◇社会的なルールやマナーの理解 ・就労を見据え、職場や社会生活で求められる基本的なマナーと行動を学びます。適切な挨拶や言葉遣い、時間厳守、整理整頓、報告・連絡・相談の重要性などを実践的に習得します。							
	家族支援	◇家族へのレスパイトと保護者の負担軽減 ・家庭内での悩みや課題、保護者様の思いに寄 ・連絡帳や申し送りでのやりとりだけでなく、	り添いながら支援をする。 個別面談もおこなう。	移行支援	◇新しい環境やスケジ: ・新しい学校生活や の調整をサポートで ・不安やストレスを 活動に注力する。	舌動スケジュール^ する。	への対応で	きるよう	生活リズム
地域支援・地域連携		◇関係機関と連携 ・学校や併用事業所、相談支援などと連携を図 で、支援の質の向上に繋げる。		職員の質の向上	◇研修受講や朝礼の実施 ・毎月の療育研究会へ へと繋げていく。 ・朝礼やケースカンで な支援を提供する。	や研修内容の共有を ファレンスを通して			
	主な行事等	・園外活動、公共施設での活動(デイキャンプ、サイクリング、ゴーカート、公園) ・作業実習 ・家族会 ・夏祭り ・修了式 ・発表会 ・運動会							